

山木屋の住民の方たちと現状を共有するダイアログ
～国際放射線防護委員会（ICRP）の協力による対話の継続～

【日時・場所】

- 11月25日（土） 山木屋フィールド見学（関係者のみ／一般参加可能）※事前登録制
夕食（懇親会）：つきだて花工房
宿泊：川俣町 おじまふるさと交流館
- 11月26日（日） 山木屋公民館（一般公開・聴講自由）
※参加・見学自由、参加費無料、同時通訳あり（同時通訳：株式会社ヒラノ）

【主催】山木屋ダイアログ実行委員会

- 安東量子（NPO 福島のエートス）
宮崎真（福島県立医科大学）
黒田佑次郎（福島県立医科大学）
荻野晴之（ICRP 科学秘書官補佐）
ジャック・ロシャール（ICRP 副委員長）
クリストファー・クレメント（ICRP 科学秘書官）
菅野源勝（山木屋住民）
廣野晶彦（山木屋住民）
近藤昭彦（千葉大学）
小林達明（千葉大学）
保高徹生（産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門）
栗原モモ（産業技術総合研究所 地圏資源環境研究部門）
金井裕美子（広島大学）

【参加団体】

福島のエートス、フランス放射線防護原子力安全研究所(IRSN)、原子力防護評価センター(CEPN)、千葉大学、広島大学、福島県立医科大学

後援



※お知らせとお願い※

今回の山木屋ダイアログセミナーは、映像を撮影し、「福島のエートス」のサイト(<http://ethos-fukushima.blogspot.jp>)に記録として公開する予定にしております。動画の公開を遠慮したいという方は、早めにお知らせいただきますようお願いいたします。

(連絡先：ethos.fukushima@gmail.com)

【目的】

2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故により、川俣町山木屋地区は6年間に渡り、川俣町内唯一の避難区域となりました。2017年3月31日をもって山木屋地区は避難指示解除となりましたが、6年間の避難により、帰還後も多くの課題（生活インフラ、農業生産、仮置き場、高齢化の加速等）が残っています。

このような環境のなかで、帰還された住民の方たちの活動を、住民の中でも十分に共有できているわけではありません。本ダイアログでは、山木屋の多様な状況を共有し、山木屋の将来について考える機会にしたいと思います。

【日程：1日目】

11月25日（土）

山木屋フィールド見学（関係者のみ／一般参加可能）※事前登録制

見学場所 ※雨天時は一部見学ができなくなる可能性があります。

9：30 川俣町役場集合、受付 ※名札・同時通訳機・プログラム・Dシャトルを配布

9：30～9：50 佐藤町長、菅野源勝さん、ご挨拶・注意事項説明・バスへ乗車

9：50～12：20 2班分かれて交代見学（A:大型バス班①→②、B:マイクロバス班②→①）

①菅野源勝氏お宅（ダリア・天蚕） 菅野源勝氏お宅

八坂神社

トルコキキョウハウス 廣野邦子氏

②森林・牧草地について 菅野朝夫氏お宅（小林達明氏説明）

山木屋公民館に移動

12：20～13：00 昼食（お弁当・山木屋公民館にて）

13：00～15：30 2班分かれて交代見学（A:大型バス班①→②、B:マイクロバス班②→①）

①仮置場見学

②山木屋小学校付近

八木地区について 大内勤一氏お宅

16：00 道の駅川俣

16：30 川俣町役場へ移動

16：40 終わりのあいさつ・解散（通訳機の返却をお願いします）

17：00 懇親会会場へ移動（17時30分まで自由行動）

17：30 つきだて花工房にて懇親会 ※参加自由・参加費無料

20：00 おじまふるさと交流館宿泊者はバスで移動。（つきだて花工房のバス）

※11月25日（土）宿泊される方へ（事前予約者のみ）

「おじまふるさと交流館」では、パジャマや歯ブラシ等のアメニティは用意してありませんので、ご持参いただきますようお願いいたします。また、複数名の相部屋となります。

【日程：2日目】

11月26日（日）共有のための対話

司会：ジャック・ロシヤール、安東量子

会場：山木屋公民館（一般公開・聴講自由）

9：30～9：35 はじまりの挨拶（ジャック・ロシヤール、安東量子）

9：30～9：50 前日の見学の振り返り（ICRP：テリー・シュナイダー）

9：50～10：35 プレゼンテーション（阿武隈高地のこれまでの歩みと今の状況）

- ・山木屋の概況（川俣町 佐藤金正町長）
- ・「山木屋の歴史と風土が生み出す、地域の誇り」（千葉大 近藤昭彦氏）
- ・「山木屋における放射性物質の状況と農業体験活動」（産総研 保高徹生氏）

10：35～10：55 コーヒーブレイク

10：55～12：15 阿武隈高地における農業の再開について（一人5-10分位。）

- ・菅野源勝さん（農振会会長）
- ・廣野晶彦さん（トルコキキョウ農家）
- ・本田勝信さん（米農家：事務局代読）
- ・大内勤一さん（アンスリウム農家：事務局代読）
- ・菅野瑞穂さん（二本松市東和：きぼうのたねカンパニー）
- ・山田猛史さん（飯館村：酪農家）
- ・金井裕美子さん（広島大学）

12：15～13：15 昼食（お弁当を予定、語らいどころやまこやのお蕎麦を準備）

13：15～15：30 対話（10名～15名が参加予定）

- ・山木屋の方にとっての現在の状況、課題、将来について会場で共有するための対話
- ・司会の用意する話題に対して、1人3分程度、順番にお話をさせていただきます。

<対話参加者（予定）>

佐藤金正さん（川俣町長）、菅野源勝さん（農振会会長）、廣野晶彦さん（山木屋トルコキキョウ農家）、廣野邦子さん（山木屋トルコキキョウ農家）、紺野希予司さん（語らい処やまこや）、菅野洋一さん（トルコキキョウ農家）、広野太さん（山木屋地区自治会長）、大内周一郎さん（山木屋地区自治会事務局）、山田猛史さん（飯館村：酪農家）、金井裕美子さん（広島大学）、大橋庸一さん（双葉町）、小林達明さん（千葉大学：副学長）、菅野クニさん（飯館村）、近藤昭彦さん（千葉大学）、保高徹生さん（産総研）

15:30-16:00 コーヒーブレイク

16:00-16:10 本日の議論のまとめ (ICRP: ジャン=フランソワ・ルコント)

16:10-16:30 まとめの議論

16:30-16:40 終わりの挨拶 (司会)

16:40 終了 (お帰りの際は、名札と通訳機の返却をお願いします)

報道関係者の皆様へ:

取材について、事前の申し込みは不要です。ご自由にお越してください。

次回ダイアログは、2月10日(土)、11日(日)に、南相馬市小高区で行う予定になっております。詳細が決まりましたら、福島のエートスサイトで告知いたします。

<http://ethos-fukushima.blogspot.jp>

■ICRP ダイアログセミナー (2011年~2015年)

<http://www.fukushima-dialogues.com>

(日本語・フランス語・英語)

■ 福島ダイアログ (2016年~)

<http://ethos-fukushima.blogspot.jp/p/fukushima-dialogue.html>

